

第21回 白梅保育セミナー

【全体会】 10:05~14:00 (12:10~13:00 昼休み)

I 保育者たちは、どこで、何をどう学んでいるのか ～学び続けるということ～

汐見 稔幸 (白梅学園大学・白梅学園短期大学学長)

II 幼児期に育成すべき資質・能力とは

無藤 隆 (白梅学園大学大学院子ども学研究科長)

III 新制度における保育者の研修を考える ～実践の可視化と質の向上をめざして～

北野 幸子 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授)

【分科会】 14:10~16:10

I 実践報告：舞鶴市における地域一体型研修の試み ～新たな時代に向けて、今始められることは？～

講師 北野 幸子 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授)
コメンテーター 汐見 稔幸 (白梅学園大学・白梅学園短期大学学長)
司会 松永 静子 (白梅学園大学子ども学部子ども学科准教授)

II 発達障害児の二次障害 ～学童期の育ちから考える保育のあり方～

講師 廣澤 満之 (白梅学園大学子ども学部発達臨床学科准教授)
林田 道子 (NPO 法人 I am OK の会代表・臨床発達心理士)
司会 佐久間 路子 (白梅学園大学子ども学部発達臨床学科教授)

2015年 **12月6日** (日) 10:00~16:10

主催：白梅学園大学・白梅学園短期大学 教育・福祉研究センター

後援：東京都民間保育園協会 小平市社会福祉協議会

小平市私立幼稚園協会 白梅学園大学・白梅学園短期大学同窓会

白梅学園大学・白梅学園短期大学後援会

いま保育に問われていること
新制度のもとでのこれからの保育者の学びをさぐる



お問い合わせ・申込み 白梅学園大学 教育・福祉研究センター

TEL 042-346-5639 <http://daigaku.shiraume.ac.jp/>

ごあいさつ

白梅保育セミナーは、「いま保育に問われていること」をテーマに、毎年、これからの保育を見据えた課題を考えてきました。今回の第21回保育セミナーでは、「新制度のもとでのこれからの保育者の学びをさぐる」をテーマとしました。子ども・子育て支援新制度が今年度から施行されています。保育システムが新しくなった所でも、現場ではより質の高い保育を目指していくことに変わりはありません。学び続ける保育者にスポットをあて、全体講演を3つと分科会を2つ企画しました。

午前中の全体講演Ⅰでは保育者が学び続けることについて、全体講演Ⅱでは、幼児期に育てる資質について考えます。午後の全体講演Ⅲでは、保育者の研修について考えます。分科会では、実践報告を中心に、分科会Ⅰでは、地域一体型研修を行っている舞鶴市の報告から保育の質の向上を、分科会Ⅱでは、学童期の発達障害児の二次障害の報告から幼児期に必要な支援について考えます。ともに学び合い、これからの保育を探って行くために、多くの方々の参加をお待ちしています。

分科会（希望する分科会を1つ選び、申込書の希望分科会の欄に○をしてください）

I 実践報告：舞鶴市における地域一体型研修の試み ～新たな時代に向けて、今始められることは？～

新たな時代に入り地域全体の子どもの育ちに目を向けることが今求められています。平成25、26年度に舞鶴市では行政の働きかけで市内の公立の保育園が合同で研修に取り組むようになり、子どもが主体となる保育とは、小学校との連携は、など喫緊の課題に研修の成果をあげています。この舞鶴市の大変興味深い事例をもとに地域が一体となって保育の質の向上を目指し実践していくための研修は具体的にどのようにすすめていくのか、その課題と今後の展望について参加者とともに考え合っていきたいと思ひます。

講師：北野幸子（神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授） コメンテーター：汐見稔幸（白梅学園大学・白梅学園短期大学学長）

II 発達障害児の二次障害 ～学童期の育ちから考える保育のあり方～

新制度に移行して、障害のある子どもの小学校教育との接続がさらに課題として求められています。接続期のカリキュラム等については、幼稚園・保育園、小学校における実践も多くなり、地域での包括的な取り組みも行われています。一方で、このような接続期という短期的な視点だけではなく、長期的な視点で振り返る必要もあります。このような点を踏まえ、学童期の発達障害児が抱えやすい“二次障害”に焦点を絞り、そこから見える幼児期に必要な支援について考えていきたいと思ひます。

講師：廣澤満之（白梅学園大学子ども学部発達臨床学科准教授） 林田道子（NPO法人 I am OKの会代表・臨床発達心理士）

申込み要領

- 日 時 2015年12月6日（日）午前10時00分～午後4時10分
- 対 象 保育者・園長等の保育関係者・指導員・ワーカーなどの福祉関係者および保育・福祉系学科の学生、保護者関係者、子育て支援に関心のある一般市民の方
- 定 員 150名
- 申込み方法 下記申込書の太枠内に必要事項をご記入の上、FAX または郵送にてお申込みください。
白梅学園大学 教育・福祉研究センター 保育セミナー係
〒187-8570 東京都小平市小川町1-830
TEL 042-346-5639 FAX 042-346-5652
E-mail center@shiraume.ac.jp HP http://daigaku.shiraume.ac.jp/
- 受講料 3,000円（昼食は各自ご用意ください。当日は学生食堂もご利用いただけます）
【受講料割引制度】
白梅学園大学、白梅学園大学大学院、白梅学園短期大学の「卒業生」および学校法人白梅学園元教職員の方を対象に、受講料を10%割引いたします。受講料：3,000円→（割引10%）2,700円
※申込み時にご記入のない場合、または記入された内容について確認ができない場合は、割引が適用されませんのでご了承ください。
- 振込み方法 申込書を送付の上、受講料を下記口座（ゆうちょ銀行）へお振込みください。申込書、ご入金の確認ができ次第、受講証をお送りします。
*送金者が受講者と異なる場合や2名以上まとめた送金の場合は、振込用紙の通信欄に受講者名を明記の上送金をお願いします。

ゆうちょ銀行口座番号	00130-3-623632
加入者名	シラウメガクエンコウカイコウザ 白梅学園公開講座
※ゆうちょ銀行以外の金融機関からのお振込みの場合	
店名（店番）	〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）
預金種目	当座
口座番号	0623632

必要事項をご記入の上、こちらのページをお送りください

白梅学園大学 教育・福祉研究センター 保育セミナー係
〒187-8570 東京都小平市小川町 1-830
FAX 042-346-5652

※全体会（10:05～14:00）の本会場は定員に達しましたので、スクリーン会場への案内をしています。
分科会（14:10～16:10）については本会場で受講ができます。

第21回 白梅保育セミナー 申込書

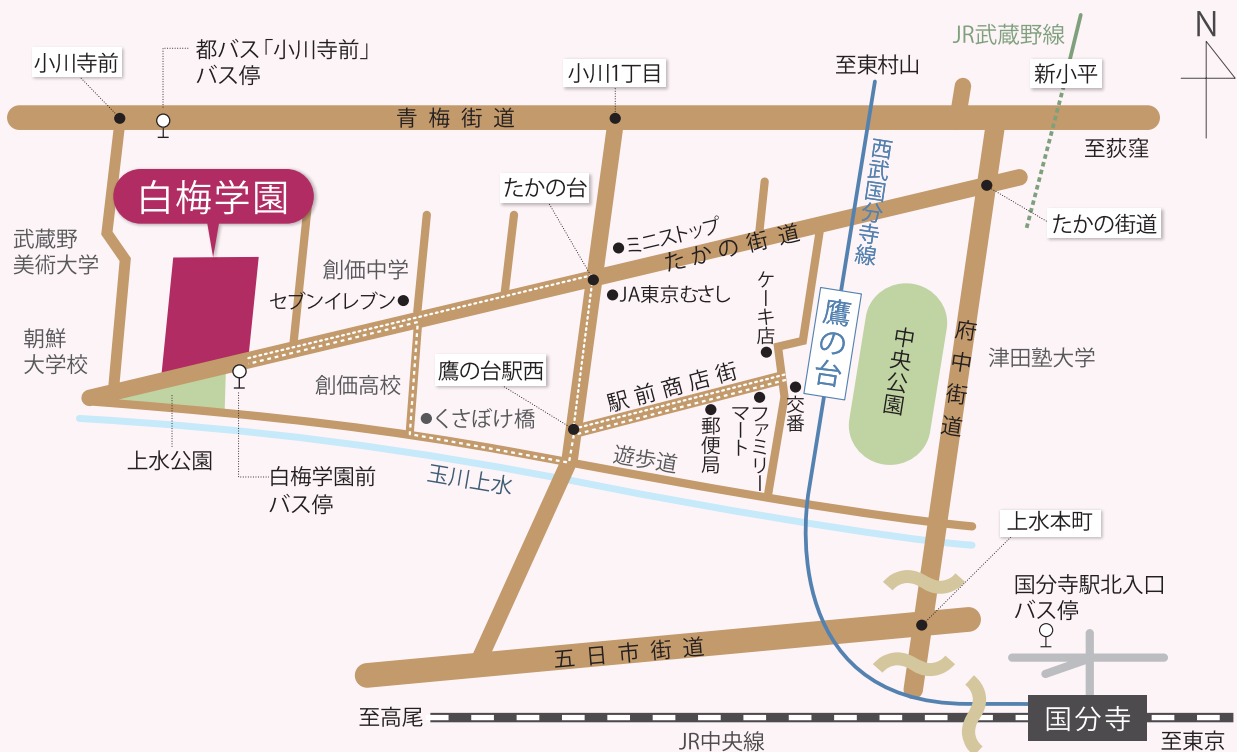
ふりがな				受講 No.
氏名	スクリーン受講可			
自宅住所	〒 TEL FAX			
勤務先	名称（ふりがな）	職 種	経験年数	
				年目
希望分科会	どちらか1つに○をしてください。 () I 実践報告：舞鶴市における地域一体型研修の試み ～新たな時代に向けて、今始められることは？～ 北野幸子（神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授） 汐見稔幸（白梅学園大学・白梅学園短期大学学長） () II 発達障害児の二次障害 ～学童期の育ちから考える保育のあり方～ 廣澤満之（白梅学園大学子ども学部発達臨床学科准教授） 林田道子（NPO 法人 I am OK の会代表・臨床発達心理士）			
受講証等送り先（どちらかにチェックを入れてください） ※不備等でチェックした先へ連絡する場合があります。			<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	
白梅学園の関係者の方は番号に○をつけてください。	1. 学校法人白梅学園現教職員、白梅学園大学、大学院、短期大学在学生（学籍番号：_____） 2. 白梅学園大学、大学院、短期大学卒業生 西暦_____年度卒業（学科_____） 3. 学校法人白梅学園元教職員			

お知らせ頂いた氏名、住所、電話番号、その他個人に関する情報は、公開講座のご案内、受講証・関係資料等の送付、講座におけるご連絡のみ利用させていただきます。

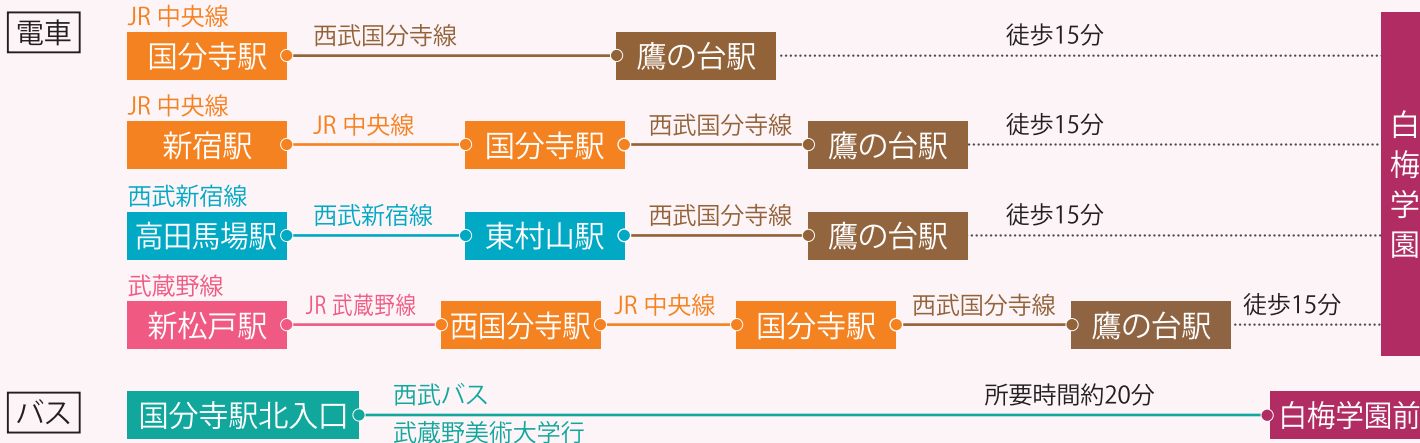
*大学使用欄
(記入不要)

割引	受講証発送	備考
ありなし		

学園周辺図



ACCESS



電車

- ・ JR 中央線「国分寺駅」で西武国分寺線（東村山行）に乗り換え「鷹の台駅」下車、徒歩 15 分
- ・ 西武新宿線「高田馬場駅」より「東村山駅」で西武国分寺線（国分寺行）に乗り換え「鷹の台駅」下車、徒歩 15 分

バス

- ・ 国分寺駅北入口から西武バス（武蔵野美術大学行）に乗り、「白梅学園前」下車 所要約 20 分

学内に受講生の駐車スペースはございません。公共交通機関をご利用ください。自転車は学内の駐輪場をご利用ください。